

## 小麦の収穫適期予想

「ふくさやか」 6月7日頃～

「農林61号」 6月10日頃～

小麦の収穫時期は梅雨時期と重なるため、週間天気予報を確認し、適期を逃さず迅速に収穫しましょう。

### ○地域・播種時期別の収穫適期予想

#### 「農林61号」

地域・播種時期	子実水分が約25%となる時期 (収穫適期水分)
長浜市・米原市 10月下旬～11月上旬まき	6月10日頃から

#### 「ふくさやか」

地域・播種時期	子実水分が約25%となる時期 (収穫適期水分)
高月地域 11月上旬まき	6月7日頃から

**※収穫適期はほ場条件や今後の天候により変動します。**

**上記の予想を参考にし、適期に収穫しましょう。**

#### 近畿地方の1か月予報

近畿地方1か月予報(令和元年6月1日～6月30日までの天候見通し) 大阪管区气象台5月30日発表

向こう1か月の天気は、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。

向こう1か月の降水量は、平年並または少ない確率ともに40%です。日照時間は、平年並または多い確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目(6月1日～6月7日)は、高い確率70%です。2週目(6月8日～6月14日)は、高い確率70%です。3～4週目(6月15日～6月28日)は、平年並または高い確率ともに40%です。

## ○子実水分・収穫適期の簡便確認法

収穫適期までの日数 (子実水分)	爪先で圧迫 	粒の断面 
収穫適期まで約7日 (水分35%以上)	簡単に割れる (指の腹で 押しつぶせる)	柔らかい糊状
収穫適期！！ (水分25%以下)	何とか割れる	硬い糊状 少し粉っぽいろう状

## ○収穫作業のポイント

### 1. 小麦の収穫適期は原則子実水分25%以下！

麦に露がつきやすい早朝・夕方・降雨後は、穀粒の水分が著しく上昇するため、収穫作業は避けてください。子実水分が30%以下になれば収穫可能となりますが、原則として子実水分が25%以下になってから収穫しましょう。

《子実水分が高い場合のリスク》

- コンバインの回転数が高すぎると、打撃により粒が損傷し、品質が低下します。作業時の子実水分が高いと、より損傷粒が増加しやすくなるため、回転数を低下させましょう。
- 乾燥調製施設のホッパー等が詰まり、処理能力の低下や乾燥ムラの原因になります。
- 赤かび病等の病原菌がまん延したり、発熱や発酵、ムシやすくなります。

### 2. 赤かび粒は搬入しない！

赤かび粒が発生した場合は、絶対に施設に持ち込まないでください。

### 3. 収穫後は速やかに乾燥施設へ！

湿度の高い時期の収穫のため、ムシによる品質低下や赤かび病の感染拡大を防ぐ必要があります。収穫後は速やかに乾燥施設に搬入しましょう。

### 4. 刈り遅れに注意！

刈り遅れると、穂発芽や倒伏の増加、赤かび病の発生等で品質低下のリスクが高まります。

### 5. 必要に応じて刈り分けの判断を！

以下のような場合は、刈り分けが必要です。

- 遅れ穂が多い（選別時、未熟粒が混入する恐れがある）。
- 赤かび病の発生が多い。
- 倒伏の程度が大きい。
- 穂発芽が発生している。
- 雑草の種子が混入する恐れがある。（カラスノエンドウ、イタリアンライグラス等）。

## ○収穫や後作に向けて今一度、排水対策の徹底を…！

登熟期の湿害は減収するだけでなく、品質を大きく低下させるので、排水溝を今一度点検し、速やかに排水するよう、溝さらえなどを徹底して行いましょう。